

# Pedionの超薄型キーボード

内澤 学\* 羽島一夫\*  
表野 匡\*\* 石塚健彦\*  
松山 賢\*\*\*

## 要 旨

パソコンの小型化・軽量化は急速に進展し，デスクトップタイプからノートタイプへ，最近では更に携帯性を強化したモバイルコンピュータへの期待が高まっている。

モバイルコンピュータに適用されるキーボードは，徹底した薄型化と良好な操作性の維持といった互いに相反する要求事項を満たさなければならない。

その実現のために，従来のキートップガイド機構を見直すことにより，ラバータイプキーボードとヒンジタイプキーボードの，2方式のキーボードを新たに開発した。両方式ともデスクトップパソコン用キーボードと同程度のキーピッチ19mmでありながら，全体の厚さは3.6mmという超

薄型キーボードである。

ラバータイプキーボードはクリックラバーだけでキートップを保持するシンプルな構造，ヒンジタイプキーボードはヒンジでキートップを支持する構造とすることにより，超薄型化を実現した。

快適な操作性を実現するために，操作感に関するモニタ試験を実施し，その結果を設計にフィードバックした。

モバイルコンピュータ“Pedion”用に開発したこのキーボードの構造は従来のパソコン用キーボードと大きく異なり，今後のモバイルコンピューティングに向けた新方式のキーボードとして提案する。



## モバイルコンピュータPedion用キーボード

モバイルコンピュータPedion用に開発した超薄型キーボード（ラバータイプ）である。全体の厚みは3.6mm，重さは100g，キーピッチは19mmであり，新構造によって超薄型，軽量化を実現した。